

ふくおか & MAFF

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- ➔ 若手農業者との意見交換
～JA北九青年部（遠賀・中間支部）
- ➔ 鳥インフルエンザから農場を守りましょう！
- ➔ オンラインによる予算説明、意見交換始めています

雪の寺内ダム(朝倉市)



若手農業者との意見交換

～JA北九青年部（遠賀・中間支部）～

全国的に新規就農者が減少傾向の中、次の担い手となる新規就農者をどう確保していくかが課題となっています。

昨年に続き、JA北九青年部の皆様と意見交換を行いました。今回はコロナ禍ということもあり、代表として役員6名の方とJA北九さんにお集まりいただきました。



意見交換に参加いただいた農業者の皆様をご紹介します。

意見交換での主な意見についてご紹介します。

木原 教茂 さん

- ・ 県農業青年部協議会委員長
- ・ 作付品目：米、キャベツ、ブロッコリー



村田 智彦 さん

- ・ 支部長
- ・ 作付品目：米、麦、大豆



石田 健太 さん

- ・ 副支部長
- ・ 作付品目：米、麦、ハウス（野菜）



片田 栞太 さん

- ・ 遠賀支会長
- ・ 作付品目
個人：ブロッコリー、オクラ
法人：米、麦、大豆



俵口 拓人 さん

- ・ 岡垣支会長
- ・ 作付品目：米、麦、スイートコーン



安高 寿倫 さん

- ・ 芦屋支会長
- ・ 作付品目：米、露地ぶどう



★スクミリンゴガイによる稲の食害が年々増加しているが、よい対策はないか。

《JAから》JAの支援策として、防除薬の「ジャンボたにくん」の購入額に対し5%還元している。また、今後、糠ゼリー（餌）を使った防除対策の実証試験を行う予定。



★今後の経営安定ためにはハードルが高いと思われるGLOBALG.A.P.やASIAGAP等の認証取得にも取り組むべきか。

★農繁期の短期雇用確保が課題であり、他地域でのよい事例があれば参考にしたい。

★コロナ禍で地域の特産品や加工品の販売が厳しくなっているが、菜種油や日本酒など栽培から頑張っており、是非続けていきたい。

今後も意見交換よろしくお願ひします！



興味はあるけど、農業ってどう始めたらいいんだろう？



新・農業人ポータル（農林水産省HP）

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/

鳥インフルエンザから農場を守りましょう！

令和2年度は、現時点(2/18)で国内17県50事例の高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されており、多量に鳥インフルエンザウイルスがあちこちに存在していると考えられます。

引き続き、消毒や防鳥ネットの管理など飼養衛生管理の徹底が必要です。

鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省HP）



<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

MAFF
農林水産省

今シーズンのウイルスの特徴について

今シーズンは、農場周辺のあちこちに、多量の鳥インフルエンザウイルスが存在。



農場・人・物・車両の消毒等により、ウイルス量を一定量以下まで減らせれば、感染を防ぐことが可能です。



※農研機構の試験において、 10^5 EID₅₀では鶏が死亡し、 10^4 EID₅₀では死亡しない結果。
(1EID₅₀：発育鶏卵の半分を感染させるウイルス濃度)

徹底的な消毒で、この渡り鳥の飛来シーズンを乗り切れるよう、関係者が連携し、頑張りましょう！！



鳥インフルエンザの症状		写真出典：農研機構動物衛生研究部門
特に、以下の症状には要注意。		
元気消失	肉冠のチアノーゼ	今シーズンのウイルスは、感染してから死亡するまでの期間が長い傾向があるため、鶏の症状に注意を払う必要があります。必ずしも全ての症状がみられるわけではないことに注意！！
顔面の浮腫性腫脹	突然死	
「いずれかの症状に当てはまる」「何が異状がみられる」「死亡羽数が増えている」		
そんなときは、最寄りの家畜保健衛生所等に要相談！！		

**早期発見
早期通報
が重要です!!**

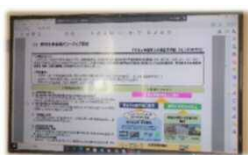
オンラインによる予算説明、意見交換始めています

九州農政局福岡県拠点では、「現場と農政を結ぶ」をテーマに、国の施策を分かり易くお伝えし、皆様のお困りごとの解決につなげるよう、皆様のもとに出向き、取り組んできたところです。このたび、福岡県が新型コロナウイルス緊急事態宣言下である中でも、「現場と農政を結ぶ」ため、オンラインによる関係機関への国の予算説明や企業の方との意見交換を始めました。



《 関係機関への予算説明 》

- ・説明資料は、事前にメール等で配布するとともに、モニターにも映しながら説明。
- ・オンラインでの発言、質問ができなかった出席者について、会議終了後、電話、メール等により質問等を受け付け。



説明資料（モニター画面）同時に複数の関係機関へ予算説明（県拠点）



《 企業との意見交換 》

- ・相手方、当方とも資料、PC画面等をモニターに映しながらの意見交換。



企業との意見交換（県拠点）

今後、農業者の皆さんともオンラインでの意見交換を行いたいと思っております。よろしくお祈りします！



参加者様からの感想

- ・事前の接続試験により、オンライン当日に問題なく会議ができてよかった。
- ・資料のモニター表示による予算説明は、どの部分の説明が分かり、また映像、音声ともはっきり聞こえ、非常に分かりやすかった。
- ・対面での予算説明と同様に質問等もでき、ストレス無くオンライン会議ができた。
- ・通信状態が不安定で音声聞き取りづらい時があったが、その際は、チャットで文字による説明があった。多少音声が聞きづらくても参加可能だと感じた。
- ・今後、オンラインによる会議が主流になるだろう。不慣れな部分は回数を重ねることで改善すると思う。
- ・Skype For Business以外のアプリでも対応いただきたい。
- ・コロナ禍でのオンライン会議は必要である。また、今後も意見交換も含め、オンライン会議を行いたい。

使用アプリのインストール、接続テスト等の事前準備にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<http://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

